



あけぼの

第40号 2015. 3. 1
宇和特別支援学校(知的障害部門)
図書館発行

『北島康介』を読んで

高3 G 呉田 美咲

私が選んだ本は、北島康介と言う水泳選手の話です。この本を選んだ理由は、私も小学生の時に水泳をしていたので興味があったからです。北島選手は、スイミングスクールに通っていたそうです。なんでも、体を動かす事が大好きな男の子だったと書いてありました。私も思いきりスポーツをするのが好きなので、気持ちがよく分かります。北島選手のスイミングクラブは、とてもきびしい練習だったようです。私も、小学校の時に、とても練習がつかかったのを覚えています。

でも、北島選手は、平泳ぎで、バルセロナオリンピックで4位になった林選手を見て感動したそうです。そして自分も絶対オリンピックに出るような水泳選手になると誓って猛練習したと言うのです。憧れる人がいて、目標が出来るのってすごくすてきだとうらやましくなりました。

目標を持った北島選手は、それからきびしいコーチの指導にもめげないで頑張りぬいたのです。ついにアテネオリンピックで金でした。考えてみると、私も小学校の時のつらい練習を頑張ったから、今年、学校からいろいろな大会に出場して頑張ってきたから、結果を出せたのではないかという事に気がつきました。辛い事から逃げ出したい事もよくありますが、やっぱり頑張ってやりぬくと、後から良い事がめぐってくるんだなと思います。三年生になって、しんどい事もたくさんありましたが、私なりにオリンピックのような目標をひとつずつやり遂げられたかなと思っています。北島選手は、今でも変わらず記録を出そうと頑張っているそうです。

私も、まけないでやっていこうと、この本を読んで思いました。

『犬と私の10の約束』を読んで

高2 G 宇都宮 彩里

犬と私の10の約束という本は、私にとって一番大切な本です。私は、この本を読んで、亡くなった母方の愛犬を思い出します。この本に書いてある主人公あかりという女の子と、クリーム色の白い靴下をはいたみたいで一匹の子犬は、仲良くなりたいたいという気持ちをかかえていました。でも子犬は、前足をつっぱるようになって、少し後ずさってしまい、あかりは、仲良くしたいという気持ちをこの子にどうつたえればいいのかのう？とっていました。

私は、この文章を読むと、愛犬と初めて出会った時のことを思い出します。私が愛犬と出会ったのは、五才の時でした。母方のおばあちゃんちに遊びに行った時に出会いました。私も初めて出会った時、最初は前足をつっぱるようになって、少し後ずさり、なかなか私の元へ来てくれなくて、どうしたら、仲良くなれるのか、この子に仲良くしたいという気持ちをどう伝えればいいのかのう？とっていました。でも、この本のように、ご飯をあげて、お水をあげて、お水を新しくしてあげて、お散歩もして仲良くなれました。いっぱい愛犬「ごうたろう」との思い出ができ、一緒に過ごす時間が幸せでした。でも、今は、もういません。病気でなくなってしまうました。この本に出ているソックスという犬も亡くなってしまうます。この本は、犬の気持ちやあなたがかさが伝わる感動するステキな物語です。私にとって一番思い出のある大切な本です。この本の中には、犬と私の10個の約束事があります。

ぼくは、つりがすきです。野村ダムでつりをします。

でも、はりとり系をむすぶのがおずかしくてこまります。学えんのしょくいんさんといっしょなので、ほとんどやってもらいます。なげるのはとくいなのに、むすぶのがおずかしいです。だから、つりの本をかきました。

むすびかたの図があったので、見ながらむすんでみました。まだまだうまくいくことがありません。もっと練習します。

シーバスは、ルアーでもつれるし、えさでもつれます。野村ダムには60センチくらいのブラックバスがいるので、つってみたいです。この本には、ブラックバスやシーバスのしゃしんがのっていて、わくわくします。こんなのがつりたいです。つりごよみも入っています。一月は沖づりでハゼやカレイがつかれるそうです。図しょかんにつりの本があつてよかったです。



感想画



しましまぐるぐる
小3月 大坪 忠治



てぶくろ
小4. 5. 6年 創作クラブ



西遊記
中1B 岡田 翔太



西遊記
中1A 加藤 弘靖



おおきなかぶ
小3星 土居 楓佳



だじゃれ日本一周
中2A 上川 航平



だじゃれ日本一周
中2A 石田 陸

『星になったチロ』を読んで

高1G 上田 健斗

僕がこの本を選んだ理由は、僕は、家で犬を飼っていて、この本は、犬についての話だと思ったからです。

チロというのは、三年前、亡くなるまでの十二年間、筆者と一緒に暮らしていた北海道犬です。チロは、天文台長や星祭りの代表世話役やいん石搜索団長をつとめたり、人間顔負けの大活躍をして、全国の星仲間のアイドル犬としてかわいがられた人気者の犬でした。チロの活躍を知って、すごい犬だと思いました。

僕の家にもチヨコという名前の犬がいます。チヨコも人の役に立つように、いろんな訓練を受けていて、もうすぐセラピー犬としてデビューする事になっています。チロと同じように人の役に立って、みんなから愛される犬になるように頑張ってほしいと思います。

チロは、十二歳の時に、病気が原因で亡くなったので、とてもかわいそうだと思います。僕の家で飼っているチヨコは、まだ二歳なので、病気もなくいつも元気いっぱいですが、いつか年をとってお別れする時が来るかと思うと、とっても悲しい気持ちになります。その時まで大事にしようと思います。



MY介護の広場

『スーホの白い馬』を読んで

中3A 宇都宮 賢太

僕は、『スーホの白い馬』を読んで、すごくかんどうし、いい話だと思いました。なぜかと言うと、スーホは、まじしく、いつもおばあさんを助けてくらしっていて、えらいなあと思いました。

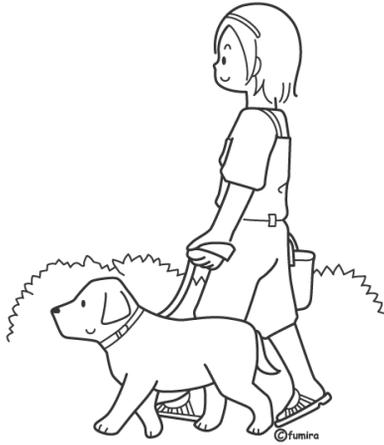
スーホが生まれたばかりの馬をだきかかえて帰ってききました。たおれているところを見つけて、つれて帰ってあげるといのは、本当にすごいと思いました。この後も、子馬がひつじを守るためにおおかみと戦うシーンがあるけど、かっこいいなあと思いました。

僕は、この後の町でのけい馬大会のところがかんどにかんどうして、いいシーンだと思いました。スーホの馬が一等になったけど、町のとのさまは、やくそくをやぶり、そのうえ白馬をおいていけとも言われました。そして、これをことわったスーホは、なぐられ、けとばされ、気を失ってしまったのです。ほんとうにかわいそうでした。そして、何日かたって、きずはなおったのですが、スーホの白馬をとられたかなしみは、きえませんでした。僕も、このことを考えると悲しくなります。

そして、白馬は、スーホに会うために、にげたので、矢をさされてしまい、ほんとうにいたそうで、かわいそうでした。スーホは、白馬を助けようとささっている矢をひっしてぬきました。でも、白馬は死んでしまったのです。そのあと、スーホは、白馬のゆめを見ました。そして、白馬が、「私のからだで楽器を作ってください。」と言いました。それが、馬頭琴と言う楽器なのです。ほんとうにこの話は、かんどうするし、いい話だと思いました。

①私と気長につきあってください。②私を信じてください。それだけで私は幸せです。③私にも心があることを忘れないでください。④言うことをきかないときは理由があります。⑤私にたくさん話しかけてください。人のことばは話せないけど、わかっています。⑥私をたたかないで。本気になったら私の方が強いことを忘れないで。⑦私が年を取っても仲良くしてください。⑧私は、十年くらいしか生きられません。だから、できるだけ私と一緒にいてください。⑨あなたには学校もあるし友だちもいます。でも私にはあなたしかいません。⑩私が死ぬとき、お願いです、そばにいてください。どうかおぼえていてください、私がずっとあなたを愛していたことを。

この約束を守り、亡くなった愛犬ごうたろうの分まで、私の家にいる愛犬チャッピーにいっぱい、いっぱい愛情を注ぎ大切に育てていきたいと思えます。そして、亡くなったごうたろうとの楽しかった思い出と今のチャッピーとの思い出を大切に、共に成長していきたいです。これからもたくさん本を読み、幸せになりたいです。



『図書館戦争』を読んで

高1F 田中 明日香

このお話は、私が中学生のころから大好きなお話です。最初はあまり興味がなかったのですが、読んでいくにつれてとてもおもしろい内容でした。

図書館戦争は、本を自由に読めなくなった時代が舞台の物語です。国家権力の本の検閲に対抗し、読書の自由を守るために作られた、図書館の自衛組織の図書隊に入隊した主人公「笠原 郁」目線で書かれています。

私が、この物語を読んで思ったことは、もし近い将来この物語のように自由にいろいろな本を読めなくなってしまうらどうなるだろうということでした。国の検閲にひっかかってしまった本は「メディア不良化隊」によって全て燃やされたり、捨てられてしまいます。目の前で私の大好きな本が燃やされたり、捨てられたりしたらとても悲しいです。その本を作った作者さんたちもとても悲しむと思います。私はそんな社会になってほしくないなと思いました。この物語でもしよかった所は、主人公とその仲間の会話です。ギャグを言っていたり、ふざけている場面などが書いてあって、読んでいる私もおもしろくて笑ってしまいました。

私がこの本を読んで学んだことは、「仲間の大切さ」と「信念を貫く」ことです。主人公が、けがをしてしまったり、おいこまれてしまっても仲間を助けてもらったり、教えてもらったりして仲間がいると心強いんだなと思いました。主人公は、「本を守る」という信念でどんな危ない状況でもたむかっけていて、とてもかっこいいと思いました。私も周りの仲間を大切にして、自分の信念をちゃんともってこれから生活しようと思います。